

NEWS23 週刊報告 ダイジェスト版

対象番組：NEWS23(TBS)

対象期間：4/2～4/6

・ 4/2(月)

新入社員および雇用の動向、北朝鮮問題、防衛省日報問題、ポスト安倍、東京労働局長が発言謝罪などについて報じられました。これらのトピックについて放送法第四条の観点から検証を行いましたところ、防衛省日報問題およびポスト安倍についての報道で、放送法第四条に抵触するシーンが見られました。また防衛省日報問題については印象操作の疑いも見られました。なお、防衛省日報問題とポスト安倍については検証者の所感を記しました。

・ 4/3(火)

イラク日報問題、南北朝鮮関係、東京労働局長を処分、放送法四條、岡山理科大学入学式、オスプレイを横田基地に配備へなどについて報じられました。これらのトピックについて放送法第四条の観点から検証を行いましたところ、イラク日報問題については放送法第四条への抵触が見られました。また、東京労働局長を処分については検証者の所感を記しました。

・ 4/4(水)

イラク日報問題、オスプレイ横田基地へ、どこまで広がる「トランプ流」などが報じられました。これらのトピックについて放送法第四条の観点から検証を行いましたところ、オスプレイについては他の放送日との総合的判断が必要なものでした、またオスプレイについては印象操作の疑いが見られました。なお、オスプレイについては検証者の所感を記しました。

・ 4/5(木)

イラク日報問題、国交省の機密文書が道路に散乱、森友文書問題、オスプレイが横田基地に配備、北朝鮮外相閣僚会談重ねる、「働き方改革関連法案」あす閣議決定の予定などについて報じられました。これらのトピックについて放送法第四条の観点から検証を行いましたところ、イラク日報問題、森友文書問題、オスプレイについては放送法第四条への抵触が見られました。

・ 4/6(金)

防衛省日報問題、働き方改革関連法案、米中の貿易戦争と日米貿易摩擦などについて報じられました。これらのトピックについて放送法第四条の観点から検証を行いました。特に問題は見られませんでした。なお、防衛省日報問題、働き方改革関連法案に関しては検証者の所感を記しました。

※検証の詳細は次ページ以降の「詳細版」に掲載されている各放送日の報告書をご覧ください

放送法遵守を求める視聴者の会

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局： TBS	番組名： News23	放送日： 2018 年 4 月 2 日
出演者： 星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙		
検証テーマ： 新入社員に関する報道及び雇用について、新入社員および雇用の動向、北朝鮮問題、防衛省日報問題、ポスト安倍		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新入社員および雇用の動向 ・ 北朝鮮問題 ・ 防衛省日報問題 ・ ポスト安倍 ・ 加山雄三の船舶の火事 ・ 東京労働局長が発言謝罪 ・ 中国人工衛星浩キヤスター「天宮 1 号」大気圏再突入大部分燃え尽きる ・ 米朝で拉致問題取り上げ要請へ ・ スポーツ報道 ・ 訂正： 訂正のお詫び（山口代表の字幕： 正： 支持よりも不支持が上回っている誤支持が不支持をうわまわっている） ・ 天気予報 		
<p>放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新入社員および雇用の動向→結論： 特に問題見られず 有効求人倍率はバブル期を超え、空前の売り手市場であること、企業が多様な人材を確保するために外国人の雇用も行っていること、また、インターンで新入社員の給与に差があることが取り上げられた。また、新入社員の特徴として、デジタルが身近にある世代であり、その例としてインスタグラムの利用の例があげられた。これに対し、上司からは否定的な意見が取り上げられた。新入社員のワークライフバランスを重要視しており、1 位楽しく働く、2 位には 5 年連続で増加している生活と仕事を両立させるためが入ったというアンケート調査データも取り上げられた。社会人からはこれと異なり、収入を重視する旨の発言が取り上げられた。なお、働きやすくなってきているという社会人の発言も取り上げられた。 ・ 北朝鮮問題→結論： 特に問題見られず 北朝鮮が韓国文化を厳しく取り締まってきたが、金正恩氏が K-POP アイドル公演を鑑賞した。この公演について、北朝鮮でも放送されたが、韓国側伝えた内容と大きく異なっていました。北朝鮮側の放送ではあくまでも、金正恩氏が主演となっていた。金正恩氏は出演者一人一人と握手し、「我が人民が南側の大衆芸術に心から歓喜 		

する姿を見て胸が熱くなって感動を禁じえなかった。」と発言をしたと報じた。しかし、北朝鮮では、「資本主義の芸術はすべて”腐ったブルジョワの生活様式”を流布し人々を墮落させる」という記事が労働新聞に掲載された。これに対して、北朝鮮の国内情勢に詳しい石丸氏の発言が取り上げられる。石丸氏は今回の公演はあくまでも対外的アピールであり、国内に対する方針は異なると話した。

スタジオでは、星浩キャスターが「この変化の原因を日米両政府が懸命に探っているんですが、どうやらやはり国連の制裁ですね、特に中国からの石油製品に輸出制限というのは相当効いているようだというのが今一つですね。それから、日本とアメリカが最近ですね国連の北朝鮮に対する人道支援をやりすぎじゃないかといって絞りそうな雰囲気なんですよね。それに相当危機感を抱いて、今回キム委員長が融和策に出たんじゃないかという見方がもっぱらですよ。ただ、今回の中国との首脳会談でも非核化についてはあまり譲歩していないんですね。ですから、日米両政府としてもこれはなかなか油断はできないぞということで警戒をしているとそういう現状ですね」と述べた。

今回の報道は北朝鮮問題の報道であり、このトピックについて当てられた時間は 488 秒であった。なお、今回は対立点などはみられなかった。

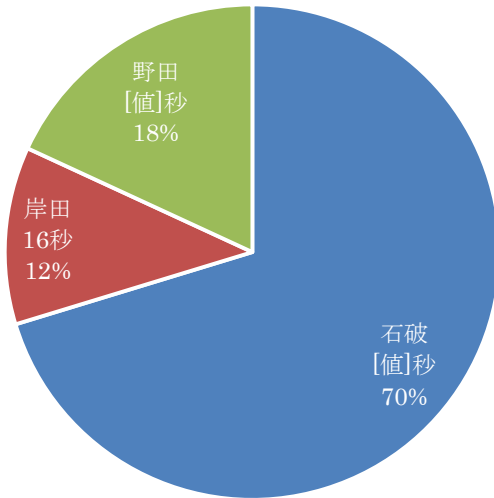
・防衛省日報問題→結論：放送法第四条第二項に違反する可能性がある

今回の報道は防衛省日報問題についての報道であり、このトピックについて当てられた時間は 110 秒であった。小野寺防衛大臣の謝罪、立憲民主党辻元清美対委員長「なぜ今出てきたのか不思議なんですよね。もしも故意に隠していたとしたら大きな問題だというように思います。」という発言をとりあげた。

スタジオで星浩キャスターは「森友の件でも改竄前の文章が出てきましたし、厚労省の調査データの原票も倉庫からでてきたという。今回はどうもですねイラクの日報があるらしいという情報を野党が入手したので慌てて出てきたという経緯のようなんです。一連の文書というのは役所の官僚の私物ではありませんからね。国民の共有財産なんていう意識があまりにも欠けているんですよ。」と発言した。

・ポスト安倍→結論：放送法第四条第二項に違反する可能性がある

今回の報道はポスト安倍についての報道であり、このトピックに当てられた時間は 272 秒であった。なお、今回は石破、岸田、野田の立場の立場についてスポットを当てられた報道で、それぞれの立場についてスポットに当てられた時間配分及び比率は以下の通りであった。



結果を見ると、時間比率に大きな偏りがみられる。これは放送法第四条二項（政治的に公平であること）に違反する可能性がある。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

・ 防衛省日報問題→結論：印象操作の疑いあり

防衛省日報問題についての報道で、星浩キャスターは「今回はどうもですねイラクの日報があるらしいという情報を野党が入手したので慌てて出してきたという経緯のようなんですね。」と発言した。これについて、実際の事実関係は不明確にも関わらず、この報道では普通の注意で視聴を行う一般の視聴者に対してあたかも野党が入手したので、防衛省がそれにより出さざるをえなくなったのであるかのような印象を抱かせるようなものであると考えられ、印象操作の疑いが濃厚といえる。

また、星浩キャスター「一連の文書というのは役所の官僚の私物ではありませんからね。国民の共有財産なんという意識があまりにも欠けているんですよ。」と発言した。これについて実際の事実関係は不明確にも関わらず、この報道では普通の注意で視聴を行う一般の視聴者に対して星浩キャスターの個人的な推測・印象でしかないのにも関わらず官僚の実際の認識との印象を抱かせるようなものであると考えられ、印象操作の疑いが濃厚といえる。

検証者所感

・ 防衛省日報問題

防衛省日報問題の報道で事実関係の点では印象操作等の問題はないが、雨宮キャスターの「文章を探したらでてきたというパターンが続いているような気がします」という内容の発言があった。そう明言はしているため印象操作であるとはいえない。しかし、続く星浩キャスターの発言とあわせると星浩キャスターの印象操作のある発言を引き出す役割をもっている。これをもって直ちに印象操作の疑いがあるとは指摘できないものの、視聴者に対して誤解を与えかねないものではないだろうか。

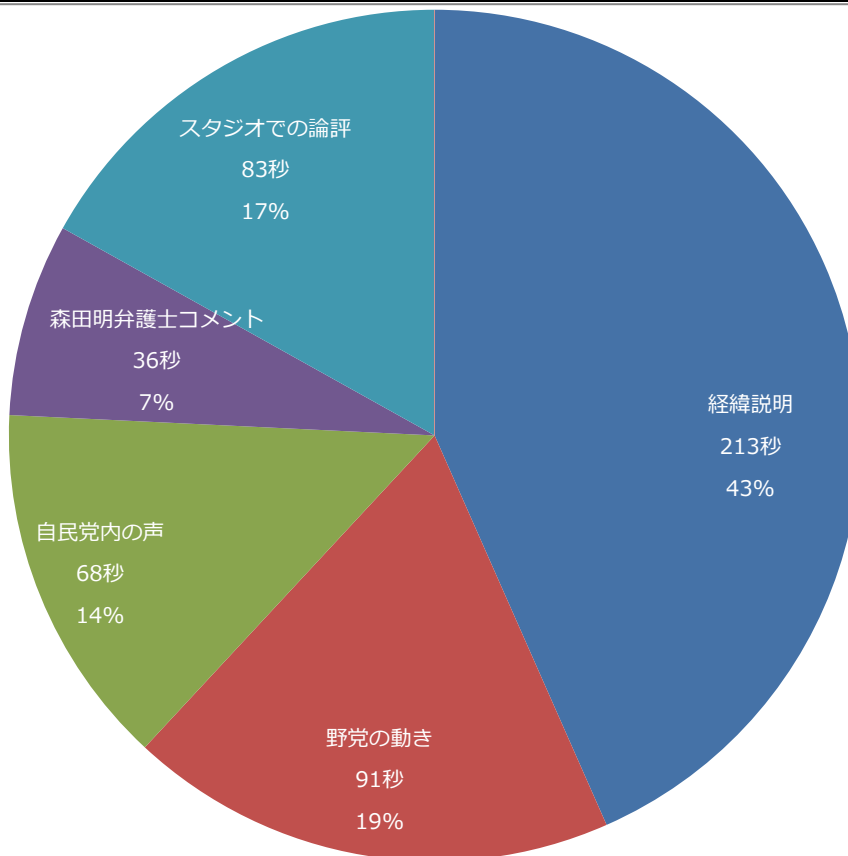
NEWS23 週刊報告 詳細版

・ポスト安倍

ポスト安倍の報道で星浩キャスター「本音からすると、安倍さんからの禅譲も期待したいなというところもあるんでしょうけども、側近はですね、しかしね、このまま様子見をしていると優柔不断な政治家と思われるのではないかと気をもんでるところですかね。」という発言があった。側近という不明確な人物の発言を基に発言している点は気になった。これをもって直ちに印象操作の疑いがあるとは指摘できないものの、視聴者に対して誤解を与えかねないものではないだろうか。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年4月3日
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙		
検証テーマ：イラク日報問題、南北朝鮮関係、東京労働局長を処分、放送法四条、岡山理科大学入学式、オスプレイ横田基地へ配備		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イラク日報問題 ・南北朝鮮関係 ・ヒノキ花粉 ・子ども食堂の課題 ・シリア東グータ地区で反体制派が撤退 ・東京労働局長を処分 ・放送法四条 ・岡山理科大学入学式 ・オスプレイを横田基地に配備へ ・スポーツ報道 ・23Today <ul style="list-style-type: none"> 防衛省日報問題 北朝鮮の外交活動 座間9人殺害事件、鑑定留置始まる ネット証券マネックス、コインチェックの買収検討 日清シスコ、大麦グラノーラを自主回収 菊池桃子さんにストーカー行為 ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イラク日報問題：結論→不十分 <p>ないとされていた日報が新たに発見されたこと、見つかった日報は陸自がイラクに派遣されていた2004年から2006年にかけて現地の部隊が作成したもので、376日分、およそ一万四千ページに上り、当時部隊の宿营地周辺に迫撃砲が撃ち込まれるなどの記述があったこと、防衛省によると日報は陸自内の2つの部署で見つかり、それぞれ1月十二日と三十一日に陸上幕僚監部総務課に報告した後2月27日に統合幕僚監部に報告が上がり小野寺大臣に報告が上がったのは3月31日で最初の報告から大臣が把握するまでおよそ2ヶ月半だったことなどが報じられた。このトピックにあてられた時間は491秒で、主に経緯説明、野党の動き、自民党内の声、元内閣府情報公開個人情報保護審査会長の森田明弁護士のコメント、スタジオでの論評などのシーンがあった。これらのシーンの時間配分及び比率は以下の通りであった。</p>		



経緯説明では日報問題を巡る議員による過去の質疑についても取り上げられていた。

野党の動きでは野党議員による防衛省へのヒアリングで立憲民主党の本多平直衆院議員の「見つかったということをまずは大臣に報告する方が先だと私はやっぱり思いますけどそうじゃないんですか。」という質問に対して防衛省統合幕僚監部の鈴木敦夫総括官が「私共はですね、まずは、まさにその、どれだけ見つかったのか、大臣にご説明するに足りる材料が揃うことを持ってしてご説明しよう、というふうに考えた。」と応えるシーンや以下に朱記したインタビューの様子が取り上げられていた。

皆川玲奈「南スーダンのときの教訓が生かされていないのではないかと。」

後藤祐一(希望の党衆院議員)「結局、なにも変わっていないじゃないですか。このイラクの問題でイラクの日報があったんですから、早急に対応して、今の所ありました、と。でもうちちょっともしかしたらほかにも見つかるかもしれないんで、追加的にあり得るかもしれません、そういう報告を早くすればいいですよ。」

皆川玲奈「この文書の管理のあり方だったり今おっしゃった体質、全体的に見てどのように考えていらっしゃいますか？」

後藤祐一「私も役所に13年おりましたけれどもバレなければならないことにしちゃえ、という体質はやはりあります。ですから今回の森友の問題でも、決裁後の文書を改ざんする。あるいは、あったものをなかったコトにする、これ根本的に改める必要があると思います。」

自民党内の声では二階俊博幹事長の「全体的に、どっか弛んでるんじゃないか、信頼を回復するように全力を上げてもらいたい。」というコメントや石破茂元防衛相の「全省庁的に文書の管理をどうするかということを中心にきちんと定めるというのは喫緊の課題だと思います。」というコメントが取り上げられた他、以下に朱記した様子が取

り上げられていた。

記者「ご自身がないと国会で答弁したイラク派遣の陸自の日報が見つかりましたが、それについてどうお考えですか。」

稲田朋美元防衛相「そうですね、南スーダンの反省のもとでしっかり文書管理をするということで今回徹底的に搜索をした結果見つかったことだということだと思います。」

記者「ご自身が大臣の時は徹底した搜索がなされていなかったということですか。」

稲田朋美「その時は確認したけれども、発見されなかったということで、その報告を受けて答弁をしていたということでございます。」

記者「ご自身の責任についてはなにかお感じになるところは……」

守衛「本会議始まりまーす。」

森田明弁護士のコメントについては「組織の途中でですね、ガクッと歯止めがかかってしまう、というかすんなりとある文書を認めない、出すべきものを出さない、といったそういう発想で対応する部分がある。ちょっと他の省庁ではないような非常に異常な対応の仕方をやってしまう。あまり抵抗なくやってしまう、そこが非常に残念なところだということなんです。」というコメントが紹介されていた。

スタジオではVTRを承けて以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

雨宮塔子「NEWS23です。防衛省で日報問題が再燃しました。」

駒田健吾「今日は野党の聞き取りを皆川さんが見てきたわけなんですけれども、どんなやり取りがありました？」

皆川玲奈「大臣に報告が上がるまでに時間がかかったこと以外にも防衛省内で誰が誰にいつ報告をしたのか、野党側は細かく追及していたんですけれどもそれに対し防衛省の担当の職員からはあまり明確な答えはなかったと言うか、言葉に詰まっていたのが印象的でしたね。」

星浩「今回は、誰が大臣に情報を上げるのを見合わせようと言ったのか、そのへんも問題だと思いますので、しっかり検証してもらいたと思います。今回私はその危機管理という点と文民統制という点で深刻だと思うんですね、やはりその大事なことは一番トップにいち早く上げるというのが危機管理の原則ですよ、それからその国会で文書がないと言っていたわけですから、その国会答弁と違った事態が起きたわけですからこれはいち早く大臣軽油で国会に報告するということが必要なわけですよ、国会と大臣が実力組織を統制するというのが文民統制の原則なんですけれども、それに反している事態が起きたということですよ。」

また、番組のクロージングでは星キャスターが「イラクの日報問題は後世の歴史にとっても大事な文書だということをお覚してもらいたいですね。」とコメントしていた。

2004年から2006年にかけてのイラク派遣での陸自の日報についての問題で小野寺防衛大臣と稲田元防衛大臣のみがクローズアップされるということについては違和感を覚えるものであった。特に石破茂元防衛大臣については問題が自分の任期の間に発覚しなかっただけであり、イラク派遣の日報問題については石破氏にも責任がまったくないとは言えないはずであり、勿論、それはイラク派遣以降に防衛庁長官や防衛大臣を務めた他の政治家にしても同様である。今回の小野寺防衛大臣と稲田元防衛大臣のみを責任者としてクローズアップする取り上げ方は、放送法第四条一項二号の「政治的に公平であること」に照らすと不十分であると言える。

・南北朝鮮関係：結論→特に問題なし

韓国芸術団の平壤公園に続き今日は南北の芸術団が合同で公演を行い最新映像が入って来たこと、他方で北朝鮮は中国に対しても外交を仕掛けていることなどが報じられた。このトピックにあてられた時間は 359 秒で、放送法第四条の観点からは特に問題は見られなかった。

・東京労働局長を処分：結論→特に問題なし

東京労働局の勝田智明局長は先週、裁量労働制の不正適用で特別指導を承けた野村不動産について質問した記者に「皆さんの会社を是正勧告してもいいんだけど」などと発言をしたことについて、加藤厚生労働大臣が今朝、不適切とした上で厳正に対処すると述べ、処分するという考えを示したこと、勝田局長は昨日、発言を陳謝撤回し今後も職責を果たしたいと話していることが報じられた。また、加藤勝信厚生労働大臣の「局長という立場の方の発言としては甚だ不適切。ある意味では権限行使に係る不適切な発言だと認識しておりますから、その点も踏まえて、厳正に対処していきたいと思っております。」というコメントも取り上げられていた。このトピックにあてられた時間は 53 秒で、放送法第四条の観点からは特に問題は見られなかった。

・放送法四条：結論→特に問題なし

政府は今日の閣議で、テレビやラジオの番組に政治的公平性などを定めた放送法四条の撤廃については具体的な検討などを行ったことはないとする答弁書を決定したこと、これは立憲民主党の初鹿衆議院議員の質問主意書に答えたものであること、放送法四条を撤廃するという議論が過去にあるのかなどの質問に対し、政府は撤廃については具体的な検討を行ったことはないとした上で放送法四条の評価について放送番組は放送法の規定に従い放送事業者の自主自律によって編集されているという見解を示したこと、放送法四条を巡っては政府の規制改革推進会議で撤廃も含めた議論が行われてきましたが政府・与党内からも撤廃には慎重な意見が出ていたことが説明された。このトピックにあてられた時間は 54 秒で、放送法第四条の観点からは特に問題は見られなかった。

・岡山理科大学入学式：結論→特に問題なし

岡山理科大学獣医学部の入学式に加計孝太郎理事長が現れたこと、入学式での加計孝太郎理事長の「本学の新設に関しましては色々ご心配をおかけしておりましたが、みなさんを含め予想を遥かに上回る志願者が集まりました。」という発言や長年学部新設を働きかけてきた愛媛県の加戸守行前愛媛県知事の「魔法の発言で岩盤規制を突破して認められた。魔法をかけられたことによって存在した、出産した獣医学部かなと思います。」という発言が取り上げられていた。このトピックにあてられた時間は 53 秒で、放送法第四条の観点からは特に問題は見られなかった。

・オスプレイ横田基地へ配備：結論→特に問題なし

防衛省はアメリカ空軍の輸送機、オスプレイ五機が今年の夏頃東京の横田基地に配備される予定だと発表したことが報じられた。このトピックにあてられた時間は 2 秒で放送法第四条の観点からは特に問題は見られなかった。

NEWS23 週刊報告 詳細版

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

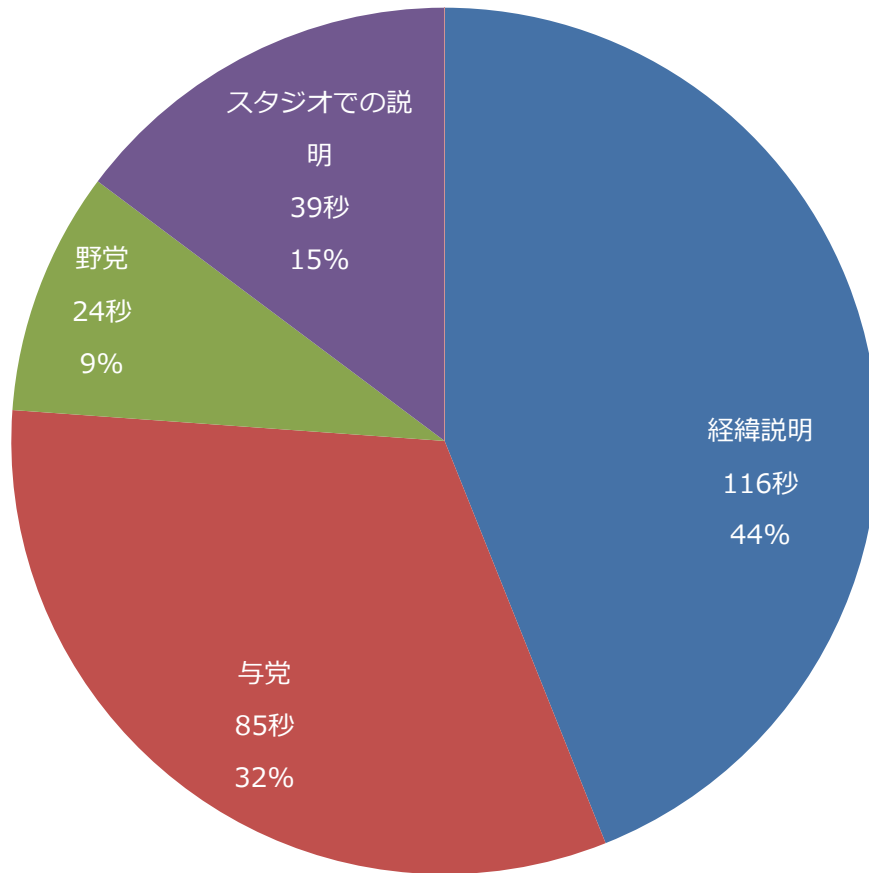
検証者所感

・ 東京労働局長を処分

検証者個人としては「皆さんの会社を是正勧告してもいいんだけど」という発言はメディアに対する萎縮というよりは、メディア企業の違法労働や制度の不正適用などの情報を入手していながらも、是正勧告をしていない、目益しをしているということを仄めかしているという点で問題であると感じた。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年4月4日
出演者：星浩、雨宮塔子、皆川玲菜、駒田健吾、宇内梨沙		
検証テーマ：イラク日報問題、オスプレイ横田基地へ、どこまでひろがる「トランプ流」		
報道トピック一覧		
<ul style="list-style-type: none"> ・イラク日報問題 ・オスプレイ横田基地へ ・大谷本拠地デビュー ・どこまで広がる「トランプ流」 ・AI 最前線 ・ユーチューブ本社で発砲 ・各地で今季最高気温 ・加山雄三氏所有の「光進丸」炎上 ・スポーツ情報 ・高速道路から車が転落 ・川に車が転落 ・覚せい剤 150 億円相当密輸 ・アマゾンジャパン配送料値上げ ・天気予報 ・NY 株 500 ドル下落 		
放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨		
<ul style="list-style-type: none"> ・イラク日報問題→結論：放送法4条の見地から問題なし <p>存在しないはずの陸上自衛隊イラク派遣部隊の日報が見つかった問題。これまで防衛相は陸自研究本部が日報の存在を報告したのは今年1月12日と説明していたにもかかわらず、実際には1年以上も前の去年3月27日に実際には派遣されていた。</p> <p>同報道では主に経緯説明、与党議員のコメント、野党議員のコメント、スタジオでの説明の4つに分類できた。以下がその時間及び比率である。</p>		



与党議員の発言は主に小野寺防衛相のコメントが取り上げられており、「研究本部、教訓センター長以下がその存在を確認していたにもかかわらず、少なくとも当時の稲田防衛大臣を初め政務三役、内部部局、統合幕僚監部には報告がなされていなかった。この点は大きな問題であり大変遺憾。」という発言。また陸上自衛隊で新たに発足した陸上総隊を前に「今週もこれまでの行政文書との扱いに関する問題が明らかとなった。国民の信頼を再び損なうことのないように同種事案の再発防止に万全を期すように努めてもらいたい。」という訓示の様子が紹介されていた。またイラク派遣部隊の隊長であった佐藤正久外務副大臣の「(日報は)我々が体を張って汗を流して作り上げたものですから一番教訓を集める部署が文書管理が杜撰だった。課題があったというのは極めて残念。」というコメントも報道された。

野党議員の発言は立憲民主党の辻本清美国対委員長「シビリアンコントロールは赤信号と言わざるを得ない。この間安倍政権は財務省の情報隠蔽と公文書の改ざん。そして防衛相の日報問題の隠蔽。もう、この二つでアウトですよ。レッドカードだと思います。」というコメントが取り上げられていた。

以上のことを受けてのスタジオの説明として星浩氏は「当時の研究本部というのはPKOなど自衛隊の海外活動の情報を集めているところですので、あるんじゃないかとは言われていたんですが、やっぱりあったというこ

とですよ。これは本当に故意に隠されていたのかどうか、きちんと調べる必要があります。早速明日参議院の委員会がありますので、そこで真相解明の第一歩をしてもらいたいと思います。」とコメントしていた

比率的には与党議員の比率が目立つものの、大半が当事者である小野寺防衛相によるものであり、許容できる範囲内であると考え。スタジオでの説明も特に問題と思われる点は見当たらず、以上のことをふまえると放送法上大きな問題は無いと考える。

・オスプレイ横田基地へ→結論：他の放送日との総合的な判断が必要

東京横田基地に配備されると発表されたアメリカの輸送機オスプレイが今朝横浜で陸揚げされ明日にも基地に向かって飛び立つ可能性があることが分かった。来年秋以降で会った配備の予定が大きく前倒しされたものであり、その理由について在日アメリカ軍は、この地域の安全保障上の懸念に対処するためとした。

これを受けて小池百合子東京都知事は「引き続き都民の生命と安全安心を守る立場から周辺の市長と連携しながら国に必要なことを申し入れていく。」とコメントした。

また軍事ジャーナリストの黒井文太郎氏の解説として「横田のものは特殊任務メインの訓練になりますから例えば敵地に夜間に低空で侵入して敵を想定しながら入っていく。訓練の内容がハードになりますのでその文危険性は上がってくる。」と横田基地に配備されるオスプレイの想定される運用や訓練について解説していた。

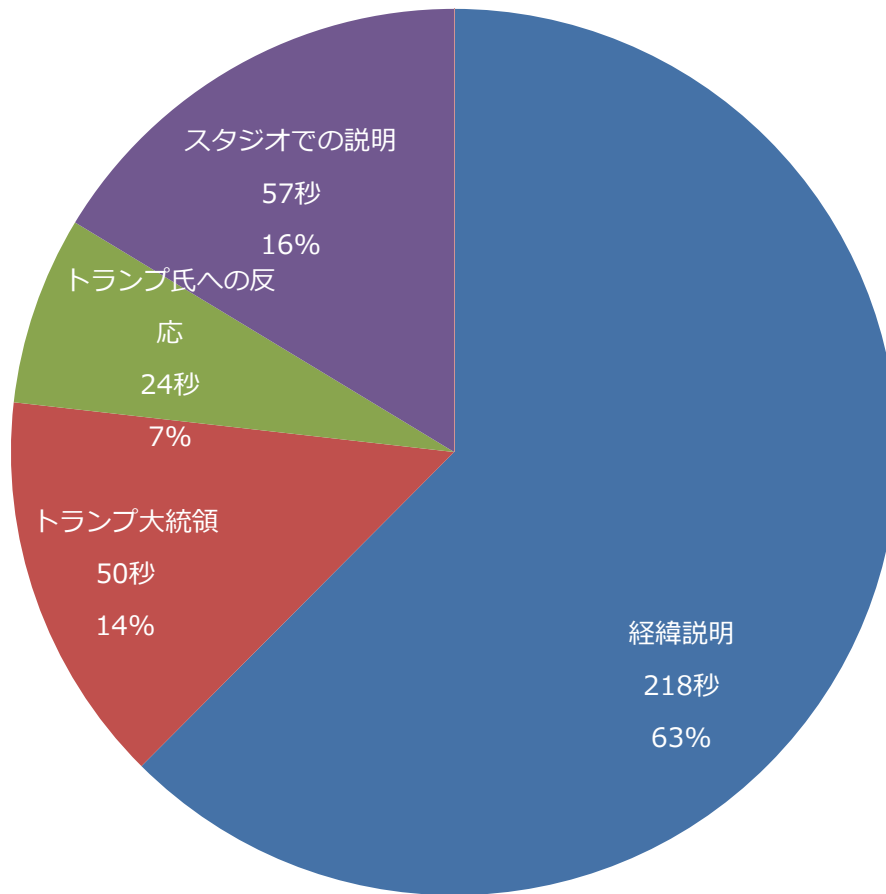
以上のことを受けて星浩氏は「そうですね。オスプレイ自体が安全かどうかという不安もありますが、今回、5機、さらに5機配備される。どんどん配備が広がってくるんじゃないかという心配もありますよね。今回の配備について在日米軍は安全保障上の懸念に対処すると言ってるんですけども、具体的には何も言っていないんですね。ですからアメリカ軍の運用の全体を詳しく明かすわけにはいかんでしょうけど、やっぱりある程度の説明を日本政府が、聞き取ってそれを周辺住民に説明をして理解を求めていく必要があると思いますね。」と日本政府に住民へのさらなる説明を求めていた。

このトピックスは 263 秒であった。なお印象操作と思われる点があったため上記の結論とし、下記に詳細を記した。

・どこまで広がる「トランプ流」→結論：放送法 4 条の見地からは問題なし

大手メディア批判や中国との貿易問題などにおけるトランプ大統領の政治姿勢をトランプ流として報道されていた。その中で地方局が同じような言葉で大手メディアを批判している様子が紹介されていた。

同報道では経緯説明、トランプ氏の発言、トランプ氏に対する反応、スタジオでの説明の 4 点に分けられた。以下がその時間、及び比率である。



経緯説明としては「メディアの側では異常な事態も起きています。先月ある地方局で大手メディアの報道を批判する放送が流れました。」というナレーションの後に米保守系メディア、シンクレアの放送局での様子を取り上げ「一部のメディアが事実も確かめずフェイクストーリーを流しています。民主主義にとって極めて危険です。」というコメントを異口同音に行っている様子が報道されていた。

トランプ氏への発言としては「対中国の貿易赤字を真剣に解消するため何らかの手立てが必要だ。」という中国をけん制する発言や「フェイクニュースの放送局がシンクレアは偏っていると批判しているが、おかしい話だよ。シンクレアは CNN やフェイク NBC よりずっと優れている。」という上記保守系メディアを批判する大手メディアを、反対にフェイクニュースであると非難する Twitter での発言などが取り上げられた。

また上記のトランプ氏の発言の反応としては中国の王受文商務部次官の「戦争がしたいなら我々は最後まで付き合う。対話がしたいならドアは開いている。」という発言などが紹介された。

以上のことを受けスタジオでは星氏の「まず、秋の中間選挙があるんですけど、これに向けて支持率を上げたいというのが一番大きいですね。アマゾン是一人勝ちなんですけれど、アメリカにも敵が多いのでトランプさんのアマゾン批判、意外と受けてるんですね。実際、最近の支持率を見ても 2月の35%が42%に

上がっているんですね。これはアマゾン叩きが成功していることだと分析されていますよね。」というコメントや、トランプ流について「貿易と安全保障という次元の違うものを絡めるというのがトランプ流なんですよ。安倍総理が17日から訪米しますが、恐らくここでも貿易と安全保障を絡めてくるということで、どう対応するかが焦点となるでしょうね。」と解説していた。

高圧的なトランプの様子が度々報道されてはいたものの、スタジオでの論評などでは比較的中立的な解説がなされており、今報道では放送法上大きな問題には当たらないと考える。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

・オスプレイ横田基地へ→結論：印象操作の疑いあり

オスプレイのトラブルについて「オスプレイは過去に相次いでトラブルを起こしているのです。開発段階だった1991年には……。2015年には……。死亡事故が発生。そして2年前では日本でも……。」とのナレーションがあったが、「相次いでトラブルを起こしている。」と述べるには1991年と2015年にはあまりにも間隔が空いており印象操作の疑いがあると結論する。

検証者所感

・オスプレイ横田基地へ

1991年におけるオスプレイの墜落事故は映像的に派手なものであり、それを挟み込むためにわざわざ不自然な組み立てをしているように感じた。24年間のスパンでもって「相次いで」と表現できるのであればメディアの信頼も「相次いで」失墜していると言われても仕方ないのではないかと思った。

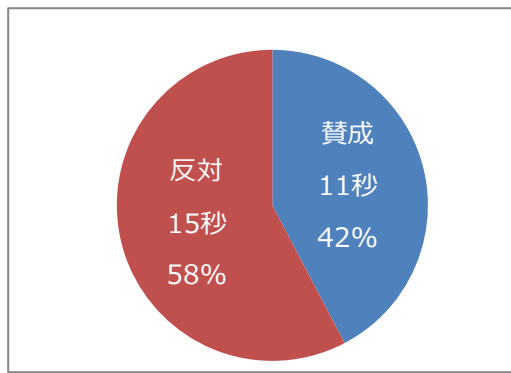
NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局： TBS	番組名： NEWS23	放送日： 2018年4月5日
出演者：【キャスター】皆川玲奈、駒田健吾、雨宮塔子、星浩、宇内梨沙		
検証テーマ： イラク日報問題、森友文書問題、オスプレイ横田基地配備、北外相閣僚会談、働き方改革関連法案		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イラク日報問題 ・国交省 機密文書が道路に散乱 ・森友文書問題 森友学園側に口裏合わせを要求 ・オスプレイが横田基地に配備 ・大谷選手 2試合連続ホームラン ・春巡業 人命救助の最中に「不適切」な対応 ・北朝鮮外相閣僚会談重ねる ・菊池桃子氏がストーカー被害にコメント ・西部邁氏自殺幫助の疑い ・スポーツ報道 ・新燃岳爆発的噴火 ・「働き方改革関連法案」あす閣議決定の予定 ・カヌーに乗った男性が行方不明 ・コインチェックが買収受け入れ ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イラク日報問題→結論：放送法第四条第二項（報道は公平に行うこと）に抵触する。 <p>イラクに派遣された自衛隊の日報が一年間にわたり開示されなかった問題について、稲田元防衛相の「大変驚いていると同時に、なぜそこから1年以上たっているわけだから、非常に驚きと同時に怒りを禁じ得ません」というコメントが報じられた。この問題に関して自衛隊に対するシビリアンコントロールが機能しているかという問題提起の後、小野寺防衛相の「機能していなければ、昨年のイラク日報が見つかった案件も、まだ公表されていなかった可能性もある」というコメントともに政府は機能している見解であることが伝えられた。それに対して自民党内からの批判として、額賀元防衛庁長官の「あきれかえって、ものも言えない。シビリアンコントロールが発揮されていない」というコメントが出された。</p> <p>また、トピック内では日報が公開されなかった背景について「戦闘」という言葉が不都合だったのではないかという推測を立て、ジャーナリストの布施祐仁氏のインタビュー映像を紹介した。布施氏は「仮に戦闘が起こっていることを認めてしまうと、現地の部隊を撤収させないといけない。政府にとってこの『戦闘』という文字が不都合な情報だったのではないか」というコメントをしている。自衛隊派遣についての政府の立場として「戦闘はない」ということが紹介された後、稲田元防衛相の「戦闘行為かという意味においては、</p>		

戦闘行為ではない。私は一般的な意味において、武力衝突という言葉を使っております」という当時の国会答弁や小泉元首相の「法律上ということになれば、自衛隊が活動している地域は非戦闘地域なんです。」という答弁が使用された。

スタジオに戻り、星氏がVTRにもあったようにイラクに行った自衛隊というのは非戦闘地域ということで、特別な法律を作って行ったんですね。国会で色々議論がありましたが、結局非戦闘地域というのは曖昧なまま行ったわけです。現地には迫撃弾も打ち込まれたりして、おそらくそのディテールなどが書かれているわけですよね。それはおそらく非戦闘地域だったのかという検証をするには非常に大事なものとなるわけです。ですから、あるものを無いというのはもっての外。永久保存すべき大事な記録だと思います。」というコメントを行った。

今トピックにおいてはシビリアンコントロールについて賛否バランスの計測を行った。コントロールは機能しているという立場を賛成、機能していないという立場を反対として計測した。結果は以下の通り。



結果を見ると、賛否のバランスがやや反対に偏っていることが判る。秒数の差としては4秒という数字だが、報道の構成として反対側が後に紹介される形で自衛隊に対するコントロールが機能していないと印象付けられる可能性がある。

・国交省 機密文書が道路に散乱→結論：特に問題なし

大阪で、国道交通省や大阪航空局などが作成した文書が散乱していたこと、文書には個人情報や機密情報まで含まれていたということ、その数およそ840枚に上ることが報じられた。また、担当者「全容は捜索中なんですけれども文書が的確に管理されていなかったのではないかな」というコメントも取り上げられていた。

このトピックについて当てられた時間は190秒で、放送法第四条の観点からは特に問題は見られなかった。

・森友文書問題→結論：放送法第四条第一項第二号に抵触する。

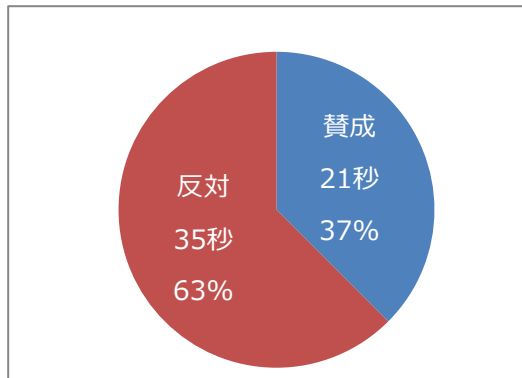
森友学園側に対して財務相がゴミを撤去した旨の口裏合わせの打診を行ったことが報道された。冒頭、川合参院議員（民進党）の「これが事実であるとするれば財務局側から不正を働きかけたということになるわけでもうにも言い逃れの出来ないような内容であります。」という国会での発言が紹介された。その後、経緯説明が行われ、ゴミ撤去の事実があったかどうかを検証する辻元議員の現地調査の様子が映された。また、野党議員が財務省を追求する様子として福島衆院議員（民進党）の「ダンプカー4000台分ぐらいです。4000台分のダンプカーが行き交いすれば当然やっていることはわかりますが、実際工事をやったかどうか確認され

ていますか。」という国会質問に対し、佐川元理財局長が「実際に工事を確認したかどうかでございますが、私ども国有地を売る場合は時価で売るとというのが基本でありまして適正な価格で売っているということ。」と答弁する様子が映された。口裏合わせの打診はその後行われたとされ、経緯説明が続いた。

この問題に対する麻生財務相の「報道については承知している。現時点で事実関係は確認できていない。事実関係について確認をさせていただきたい。」という国会答弁が紹介された。

スタジオに戻り、星氏が「何千台分のトラックを使ったことにしてくれっていう口裏合わせは深刻ですよ。そういう意味では文章の改ざんだけでなく、国会の追求逃れということもしていたのでしょうかけれども、このケースはメールを出した人や連絡をした人はすぐ分かると思いますから、全て国会に報告してもらいたいと思います。」という解説を行った後、駒田キャスターからの大阪地検特捜部についての話題に対し、「関係者に話を聞いてみると、大阪地検はどうか大量のメールを押収してしまっていて、どういうやり取りがあったか分析しているらしいです。ですからどんどん新しい情報が出てると皆戦々恐々としているという状況でしょう。」という解説が行われた。

このトピックについては財務省側の立場とそれを追求する立場に分けて賛否の時間計測を行った。結果は以下の通り。



結果を見ると反対に偏っていることが判る。これは報道の公平性を欠く結果であると判断される。

・オスプレイ横田基地配属→結論：放送法第四条第一項第四号（意見が対立している問題についてはできるだけ多くの角度から論点を明らかにすること）に抵触のおそれあり。

東京の横田基地に在日アメリカ軍の輸送機オスプレイが到着したことが報道された。オスプレイが横浜から東京上空を通過して横田基地に到着するまでの様子が映された。配備予定の横田基地の周辺住民の声として「やっぱりオスプレイって聞いちゃうとちょっと怖いですね。」「もろもろの事前通告。もっと先という最初の話だったが。急に昨日横浜港に着いたよとテレビでやっていたが、ちょっと不満。」という声が紹介された。

オスプレイ到着については周辺自治体には事前の説明がなく、国に対して早急な説明を要浮球していることが報道された。

本トピックは賛否の別れる内容ではなかったため、賛否バランスの時間計測は行わなかった。

ただし、周辺住民の声として紹介されたコメントが両者とも否定的なものしかなかったことが、横田基地周辺の住民全員がオスプレイ配備に対して不安視している印象を持たされる。周辺住民の反応についてより多角的に判断される報道であると報道の公平性が担保されると考えられる。

NEWS23 週刊報告 詳細版

・北外相閣僚会談→結論：放送法第四条の見地からの問題なし。

北朝鮮のリ・ヨンホ外相がアゼルバイジャンの会議で「北と南が我が民族同士の精神で力を合わせれば、いくらでも南北関係を改善して朝鮮半島の緊張を緩和して自主統一の突破口を開いていける。」と南北の統一に向けた期待感を示す発言を行ったことが伝えられたほか、アゼルバイジャンのアリエフ大統領や各国の閣僚と積極的に会談を重ねていることが伝えられた。

このトピックに関して賛否に関わる内容ではなかったため時間計測は行わなかった。

このトピックに当てられた時間は 47 秒で、放送法第四条の観点から問題は見られなかった。

・働き方改革関連法案→結論：放送法第四条の見地からの問題なし。

安倍内閣が再重要法案として位置づける「働き方改革関連法案」が与党の承認を得て、閣議決定される見通しであることが伝えられた。

このトピックに当てられた時間は 18 秒で、放送法第四条の観点から問題は見られなかった。

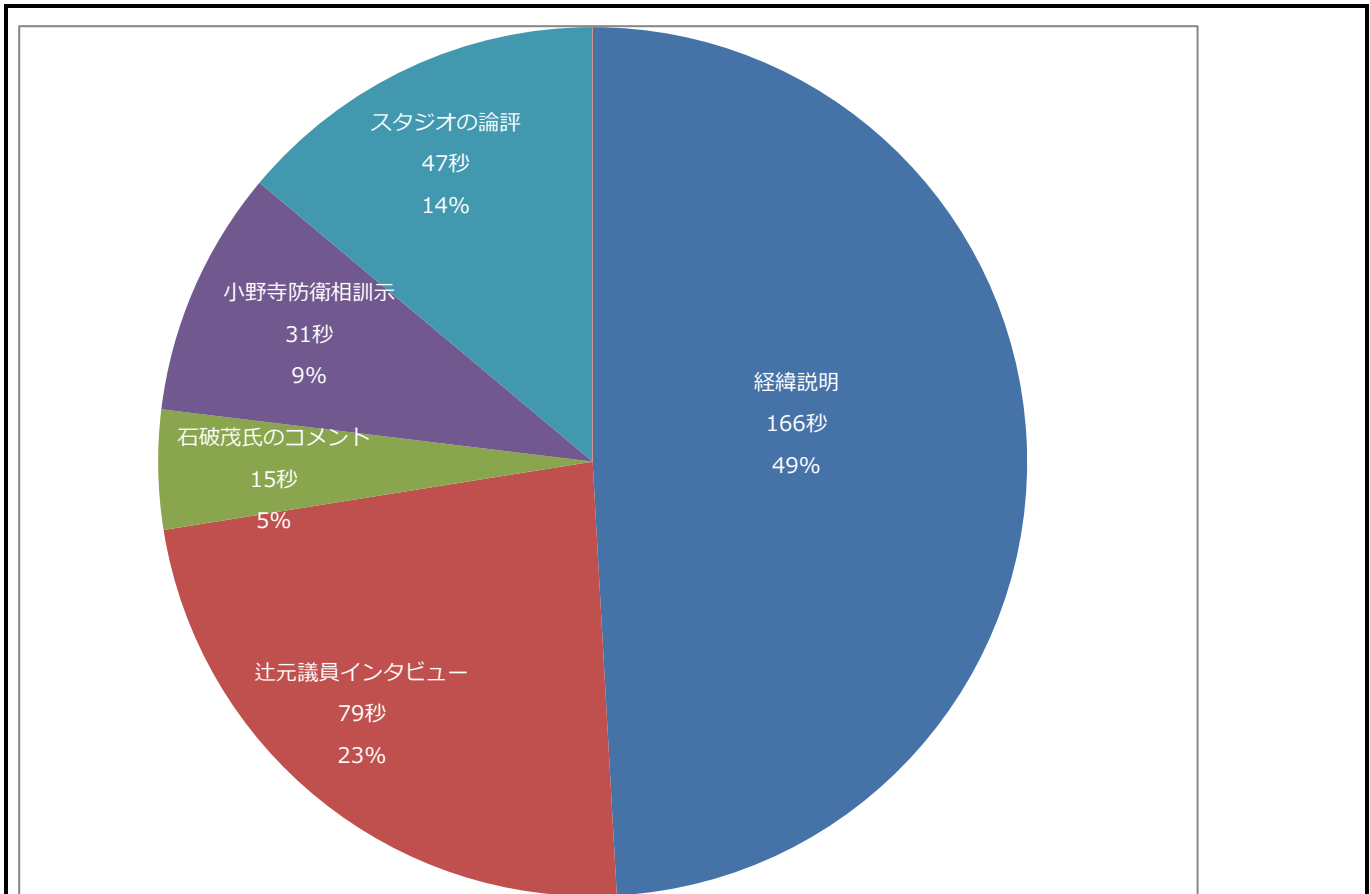
最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨
特になし。

検証者所感

特になし。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年4月6日
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、宇内梨沙		
検証テーマ：防衛省日報問題、働き方改革関連法案、米中の貿易戦争と日米貿易摩擦		
報道トピック一覧		
<ul style="list-style-type: none">・日本レスリング協会が伊調選手へのパワハラ認定と栄氏強化本部長を辞任 関連して馳浩元文科相が日本レスリング協会副会長としてコメント・防衛省日報問題・働き方改革関連法案・米中の貿易戦争と日米貿易摩擦・鹿児島県の住宅で男女三人が死亡・スポーツ報道・高畑勲監督、死去・大相撲の女人禁制・天気予報		
放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨		
<ul style="list-style-type: none">・防衛省日報問題：結論→特に問題なし 防衛省で陸上自衛隊に続いて航空自衛隊でもなかったとされてきた日報が見つかったことが報じられた。このトピックについて当てられた時間は338秒で、経緯の説明、辻元議員インタビュー、石破茂氏のコメント、小野寺防衛相による訓示、スタジオでの論評というポイントがあった。		



経緯説明では空自が2003年から2009年にかけてイラク復興支援のため隊員のべおよそ3500人を派遣し多国籍軍や国連などの人員・物資の輸送任務に当たっていたこと、空自の日報も陸自と同様にこれまでの調査ではないとされていたが昨日野党側の資料要求を承けて再度探したところ見つかったことが伝えられた。また、日報について隊員の教育に関する内部文書において陸上自衛隊では実際に部隊を運用して得た知識などを教訓と呼び、その主な資料として派遣部隊の日報を挙げていることが伝えられた。

辻元議員インタビューでは以下に朱記したシーンが取り上げられていた。

ナレーション「立憲民主党の辻元議員、内部文書のこの部分に注目します。」

辻元清美「これがいま問題になっている研本というところですね、ここから日報をもらって教材に使っている…」

ナレーション「イラクの日報が保管されていることが明らかになった陸自研究本部です。辻元議員は去年の2月、この内部文書を元に防衛省の担当者に対し日報は存在するはずだ、と質したといいます。すると」

辻元議員「一日で捨てるとか言ったよね、びっくりですよ。」

ナレーション「ないとしてきた日報の存在が次々と明らかになる中、辻元議員は」

辻元議員「イラクや南スーダンの場合は問題はなかったのか、ちゃんと憲法の範囲での活動をしていたのか、そういうことを検証するために残すべき、だから残っていると私は思った、隠蔽と言いますか、あるけれども出すとちょっとまずいかなということで、意図的にね、ないと仰っていたのかしら、と思わざるを得ないですね。」

石破茂氏のコメントでは自民党からも厳しい声が上がっているとして石破茂元地方創生担当相の「文民統制を

揺るがず大事態だ、というお話があります、そのとおりです。やはり同じ問題が起こるといえるのはどういうことなのか」というコメントが紹介されていた。

小野寺防衛相の訓示については、異例なことであるとナレーションに説明された上で「私の危機感と信頼回復への決意を全国 25 万人の隊員全員で共有し自衛隊が国民の信頼を回復するために今、自分が何をなすべきか強く自問してください。」という訓示をするシーンが取り上げられていた。

スタジオでの論評については以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

雨宮塔子「陸自に続いて今度は空自と、星さんこれだけ続きますとただ単に文書の管理が杜撰だったのか、あるいは何か意図があったのかと思います。」

星浩「そうですね、航空自衛隊は当時ですね、アメリカの兵隊を運んでいましたのでこれは憲法上問題があるんじゃないか、という追求を国会で受けていたんですよ、自衛隊の海外の活動は中々メディアのチェックを受けにくくてバールに包まれているところがあるんですよ。だからこそ毎日の活動は大臣とか文民の方に上げる必要もありますし日報という形で残す必要があるんですよ。だから日報というのはある意味では私達は憲法とか法律に基づいて活動しているんですよ、という証でもあるので、そこはきちんと残すということをこれからもルーブル化してもらいたいですよね。」

今回は放送法第四条の観点からは特に問題は見られなかった。

・働き方改革関連法案：結論→特に問題なし

働き方改革関連法案について不適切なデータが問題となった裁量労働制の拡大が削除された上で、残業時間の上限規制や非正規労働者の待遇改善に向けた同一労働同一賃金の導入、そして高収入の一部専門職を労働時間の規制から外す高度プロフェッショナル制度の創設を柱とするものとして閣議決定されたことが報じられた。また、東京労働局の勝田智明局長が特別指導の公表を記者へのプレゼントと取られかねない発言で不適切だったと謝罪したことが報じられ、この問題については希望の党の柚木道義衆院議員の「これね、本当にね、ありえないですよ。人が死んでいることを何がプレゼントなんですか。」という発言に対して勝田智明厚労省東京労働局局長が「あたかもプレゼントとして提供すると誤解を招く表現だったことと考えておまして、お詫びの上撤回をさせていただきます。」と応えるシーンが取り上げられていた。

また、先月 30 日の定例会見で野村不動産へ特別指導した経緯を質問された際に「皆さんの会社に是正勧告をしてもいいんだけど」と発言したことに対して労働行政の責任者が権限をちらつかせて報道機関を牽制した、などと批判が上がっていたことが改めて取り上げられていた。

このトピックについて当てられた時間は 243 秒で、放送法第四条の観点からは特に問題は見られなかった。

・米中の貿易戦争と日米貿易摩擦：結論→特に問題なし

アメリカと中国の間での貿易摩擦について報じられ、その背景にはアメリカの中間選挙があり米中の貿易摩擦が日本に対しても影響をもたらすという第一生命経済研究所の永濱利廣首席エコノミストの指摘が取り上げられた。また、カルソニックカンセイ会長で当時は日産自動車とアメリカと取引していた森谷弘史氏のかつての日米貿易摩擦についてのコメントが取り上げられていた。このトピックについて当てられた時間は 324 秒で、放送法第四条の観点からは特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

・ 防衛省日報問題

石破氏は日報問題に対して厳しい声を上げているが、石破氏は2002年9月30日から2004年9月27日にかけて防衛庁長官を、2007年9月26日から2008年8月2日にかけて防衛大臣を務めた人物である。石破氏は「文民統制を揺るがす大事態だ、というお話があります、そのとおりです。やはり同じ問題が起こるといのはどういうことなのか」と発言していたが、この問題が稲田氏や小野寺氏が防衛大臣の際に発覚したという話であり、問題自体はイラク派遣以降の話であるから、「文民統制を揺るがす大事態」は今に始まったことではなく石破氏が防衛大臣を務めていた時期や、民主党政権期にも発覚していないだけで文民統制は揺らいでいたと言える。

・ 働き方改革関連法案

東京労働局長の記者に対する「皆さんの会社に是正勧告をしてもいいんだけど」という発言がなぜ報道機関に対する萎縮になるのか、そもそもなぜそうした発言で報道機関が萎縮する必要があるのかが理解できなかった。報道機関が適切に労働管理をしておけば、是正勧告されることもないだろうし、不当な是正勧告に対しては断固として抗議をすれば済む話であって、臨戦態勢を整えこそすれ萎縮することはないだろう。これで萎縮するということは報道機関の側にも是正勧告の対象になりかねないような労働の実態があるということではないだろうか。そしてそうであるならば、むしろ「是正勧告してもいい」という発言によって、是正勧告をしていない、言い方を変えれば目溢しをしている、ということのを仄めかしていることのほうが一層問題なのではないだろうか。